

相羽さん探訪記 3 (前号続き)

(前号) 畑仕事の原動力は16杯のメシだが、胃潰瘍になり胃を3分の2切除した。退院してすぐ稲刈り。お茶も飯も驚くほど美味しく感じた。よく噛むようになった。歯は15本、煎り豆が好物だ。

農作業のこと

今、田圃が4反5畝、畑が1反7畝ほどやっている。畑は豆が中心だ。少し減らしてきた。この前も布マルチの知らせが届いたが、どうしようかと迷っている。あのやり方は除草剤を使わず草取りができるので理想的だが、ここでは風が強くて、布マルチが巻き上がってしまう。それにもう一つ困ったのは雨がたんと降ると浮き上がっちゃう。それにここらは用排水が一つで、わが家だけでの都合で用水、排水をかってにやるわけにはいかないので今はやっていない。残念に思っている。

農作業の仕事の量は少しは減ったが、昔に比べうんと楽になっている。50代の頃と同じようにやれる。トラクターにとっつかまっつてさえおれば引っ張っていつてくれる。機械化された農業がよいか悪いか、考えるところだが、便利だ。これがなければ今やっではおれないだろう。機械を使うのは得意だ。今の若い衆の機械の使い方を見ていると、講習してやりたくなる。田んぼを起こすにしても、トラクターでどこからブチ始めたらいいか、しまいのほうになつて

ぐるぐる廻って二度も三度も同じところを掘り返している。私なら一度ですむ。

今も続く農業学習

私は「現代農業」という農業雑誌を手本にしている。稲づくりは井原豊さんの記事を勉強した。平成10年のこと(赤線がいつぱい)。元肥なし、本肥えなしで穂が出る45日前に燐酸とアンモニアをいっぺんにやっつて、あとはほっておくという「への字栽培」はここから学んだ。田圃の一年中の作業がここにみんな載っている。2003年ごろからこんな勉強をしていたものだから、布マルチ稲作の話聞いた時、似ているなど思っつて参加する気になつた。

去年の5月8日、田植えした時うたを作つた。

米寿過ぎ九十の坂越え今年又

田植えするの健康のため。

今でも畑の仕事をして疲れて寝込むようなことはない。若い頃と同じだ。くよくよせんといつか、何かしたいといつも思っつている。

「現代農業」を初めて買ったのが80の歳、それをしつかり勉強した。去年はどうしたか、どうしたら今年もつとうまくやれるか。今でも完成したものはないので勉強は続ける。この本と直近3年の暦に、その都度書いてある作業日誌が武器だ。これを毎回見て農作業の計画をたてる。

何か健康のためにやっつているものとはいわれなくても、何も無い。目の前にあるものを見ては何

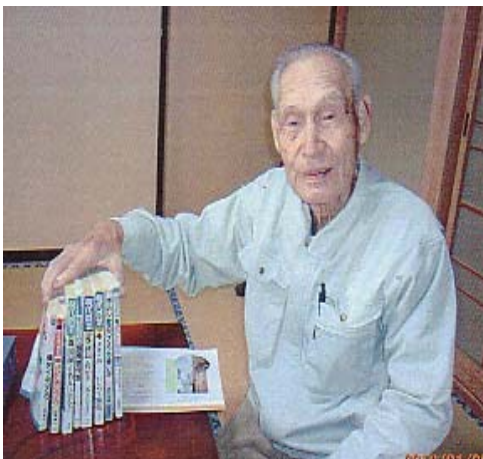
か仕事に役立つことはないか、役立つものを作れないかと工夫する。それが楽しみだ。年だからなど考えたことがない。自動車も相変わらず乗っつている。昔と変わらない。

手仕事が好きで、得意だ。子供たちや若い人と一緒に手細工で、あれこれ作る。今年も公民館、デイサービス用に門松を作つた。

これまで門松を作つていたクラブは解散した。私は平気なのだが、若い衆が歳を取つて腰が痛くて、ウラジロ採りに山に入れない。解散してしまつた。いままで子供たちに藁草履作りや、地の神様の作り方を教えたのだがね。藁ぞうり、蓑、魚籠などは道具もあるから教えてあげることもできるよ。注連縄もこさえ方があつてそう簡単にゆかないよ。(完)

(意気益々軒昂ですね、何時までも農業を楽しんでください。)

文責・伊藤



百姓一筋の95歳、いまだに毎年1からの勉強を欠かさない。赤線だらけのしつかり読み込んだ参考書と相羽さん。